

■ コミュニティバス利用者、非利用者アンケート調査概要

1 実施手法

	利用者アンケート	非利用者アンケート
① 調査対象	月曜日から日曜日まで1週間のコミュニティバス利用者	主な公共施設、商業施設利用者でコミュニティバス非利用者
② 対象者数	利用者全員	400人 (注1)
③ 実施手法	個別面接聴取法(アンケート用紙を配布した上での聞き取り調査)	
④ 調査期間	平成24年1月14日(土)～1月20日(金)	平成24年1月21日(土)～1月25日(水)
⑤ 前回実施年月	平成22年7月	平成21年1月 (注2)

注1) 統計上の有意性を確保するサンプル数を384とした。(信頼係数95%、誤差±5%)  
 注2) 平成21年1月実施「域内交通に関するアンケート」

2 主な調査結果(単純集計:上位のみ掲載)

【利用者アンケート 回答総数:161】

① 利用者の属性、利用目的

前回調査と比較して、大きな変化は見られず、高齢者や主婦層による買物利用が多い。

○性別	今回調査	前回調査
男性	19.9%	23.7%
女性	78.9%	76.3%

○職業	今回調査	前回調査
無職	68.3%	35.5%
家事従事者	11.8%	38.5%
パート等	8.7%	11.2%

○年代	今回調査	前回調査
70歳代	41.0%	29.6%
80歳以上	19.9%	9.5%
60歳代	19.2%	27.2%
50歳代	8.7%	9.5%
30歳代	4.3%	9.5%

○利用目的	今回調査	前回調査
買物	44.2%	47.9%
その他	30.1%	23.7%
公共施設利用	13.5%	20.7%
通院	11.0%	7.7%

② 平成23年3月のルート・ダイヤ改正へのご意見

オレンジルートにおいて、不便になったという意見が顕著。

	オレンジルート	グリーンルート	サクラルート
便利になった	7.0%	31.1%	17.8%
不便になった	46.5%	37.8%	16.4%
変わらない	18.6%	22.2%	32.9%

③ バス停までの所要時間

バス停から徒歩5分圏内の居住者が大半。

5分未満	74.5%
6～10分	11.8%
11～15分	1.9%
16分以上	3.7%

④ 運行便数を増やすため、現在のバス停までの所要時間が長くなるとしたら

増便のためなら、多少、バス停までの距離が長くなることに対して理解が得られる。

5分までならよい	26.1%
10分までならよい	24.2%
15分までならよい	3.7%
16分以上でもよい	2.5%
利用しない	28.0%

⑤ 運行便数を増やすため、乗り換えが必要となったら

乗り換えに対して、ややためらいが感じられる。

乗る	36.6%
乗らない	52.8%

⑥ 運行便数を増やすため、降車するバス停の希望最終到着時間

現在のダイヤと同様に、午後6時台までの運行希望が多い。

午後6時台まで	59.6%
7時台まで	11.2%
8時台まで	8.1%

【非利用者アンケート 回答総数:400】

① あしがるバスの認知度

旧春日町地区の認知度が大幅に向上。

○旧清須市	今回調査	前回調査
知っている	95.4%	97%

○旧春日町	今回調査	前回調査
知っている	95.9%	69%

※旧春日町における前回調査の認知度は、春日町が運行していた「ぐるっと」の認知度である。

② あしがるバスを利用する条件

増便への工夫が利用増の大きな鍵と言える。

行き先・経路等、自身の移動目的に合えば利用する	16.3%
運行時間帯が現在より早ければ利用する	2.1%
運行時間帯が現在より遅ければ利用する	0.9%
運行本数が現在より多ければ利用する	21.9%
乗車時の快適性が現在より良くなれば利用する	1.9%
運賃が現在より安ければ利用する	0.2%
どう変わっても利用しない	28.3%

【共通】

① 自転車の利用頻度

あしがるバス利用者は、日常的に自転車を利用しない層が多い。

	あしがるバス利用者	非利用者(施設利用者)
毎日	19.9%	47.3%
週1・2回程度	15.5%	18.7%
月1・2回程度	6.2%	5.0%
年2・3回程度	1.3%	1.5%
年1回程度未満	47.2%	19.3%